

道消協ニュース

No.4

発行責任者

道消協会長

編集責任者

道消協事務局次長

鎌田 常孝

菅原 宏仙

第42回全消協労働講座

第42回全消協労働講座が下記日程で開催決定！！

日時 2011年12月7日（水）14:00～

9日（金）12:00

会場 都市センターホテル

東京都千代田区平河町2-4-1

TEL 03-3265-8211

消防職場をめぐる現況についての見識を深めるとともに、全国の仲間と知り合う絶好の機会です。諸課題に対する共通認識を確認、意見交換をし、「模擬労使協議」の研修は自律的労使関係を前提とした講座です。将来を担う若い職員のやる気が職場の改革に大いに力をハッキリするので積極的な参加を・・・**集え若人よ**

根室市消防協設立20周年



根室市消防職員協議会設立20周年式典が10月14日根室市商工会館において举行されました。祝宴では来賓の方々からご祝辞を頂き、根室名産花咲ガニがテーブルを飾っていました。余興では空くじ無しの景品が用意され、銘酒北の勝、昆布、32インチTV等々豪華景品が盛りだくさんでした。

また設立当時の立役者、織田会長(現消防署長)も出席され、2次会のメで会員と声高らかに「団結がんばろう」をしていた姿が印象的でした！！根室消防協の益々のご発展とご活躍を御祈念いたします。ともにがんばりましょう



訃報のお知らせ

小樽市消防職員行政研究会会員 富樫敏文(47歳)が10月28日に病氣療養中に、ご逝去されました。

ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

消防職員による犯罪

1. 10月18日東京消防庁新宿消防署長の増子信仁容疑者(56)が知人女性宅に侵入し、先に部屋に入っていた飲食店店員の男性(28)と鉢合わせし、男性を殴ってけがを負わせたとして、警視庁四谷署は20日、傷害と住居侵入の疑いで逮捕した。同庁の署長が逮捕されたのは初めてという。接見した岡本修二人事課長によると、増子容疑者は被害者の男性を平手で叩いたり、蹴ったりしたことを認め、「迷惑掛けて申し訳ない。職を辞する」と話したという。

2. 電車内で女子高生の下半身を触ったとして、警視庁滝野川署が東京都迷惑防止条例違反(痴漢)の現行犯で、東京消防庁西新井消防署副士長、西家容疑者(24)が逮捕。同署によると、西家容疑者は「覚えていない」と供述しているという。逮捕容疑は、10月13日午後3時40分ごろ、台東区のJR上野駅で、京浜東北線大宮行きの快速電車に乗ってきた高校3年の女子生徒(17)の下半身を服の上から右手で触った。同署によると西家容疑者はJR田端駅に到着した際に、女子生徒につかまれ駅員に引き渡されたもので、犯行を目撃した乗客もいるという。

東京消防庁によると、西家容疑者は当日は泊まり明けで勤務後、同庁の歓送迎会に出席して酒を飲んでいた。

※ 消防職員の犯罪が多発しておりますので、綱紀粛正をはかり、忘年会等での飲酒には気おつけましょう。

公務災害訴訟

平成17年10月6日、神奈川消防署片倉出張所の寢室で当直中に、喘息発作を発症して亡くなられた故出縄氏の公務災害認定外取消裁判の判決が10月13日横浜地方裁判所502号法廷で言い渡された。

主文

1 処分行政庁が平成18年8月24日付けで原告に対してした亡出縄雅之の被った災害を公務外の災害と認定した処分を取り消す。

横浜消防協の同僚と家族の尊厳を思う熱意で勝ち取った認定である。同僚を思う浜消協の「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」の信念に基づいた長い活動が一人の仲間を救った。

しかし、11月1日基金側が控訴し東京高裁で争っていくことになった。

勤務中病死消防士 公務災害と認める 地裁判決
横浜消防協の同僚と家族の尊厳を思う熱意で勝ち取った認定である。同僚を思う浜消協の「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」の信念に基づいた長い活動が一人の仲間を救った。
判決によると、男性は2005年10月、持病のぜんそく発作のため勤務先の消防出張所で死亡した。体調が悪く治療が必要な状況にもかかわらず、当日「治療の機会を喪失した」として公務災害と認定した。